

## 教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成24年2月20日(月)午後2時30分～午後4時15分
- 2 場 所 伊東市役所 4階 中会議室
- 3 出席者 1番 杉田 純子君 2番 佐藤 潤一君  
3番 田中 智海君 4番 上村 昌延君  
5番 佐々木 誠君
- 4 参 与 教育次長 鶴田 政利 参事兼幼児教育課長 大川 浩  
教育総務課長 稲葉 繁太郎 学校教育課長 大川 幸男  
生涯学習課長補佐 肥田 耕次
- 5 書 記 教育総務課長補佐 村上 千明
- 6 会議の経過

委員長：ただ今から、伊東市教育委員会2月定例会を開会します。それでは、はじめに、教育長の報告をお願いします。

教育長：「2月教育委員会教育長報告事項資料」に基づき次の事項について報告がされた。

- 1月28日 平成23年度第3回静岡県子ども会東部地区大会  
29日 第21回伊東市善行賞授与式
- 2月 1日 第5回静東管内市町教育委員会教育長会  
2日 平成23年度生涯学習講座 いでゆ大学閉講式  
3日 伊東市立幼稚園長会  
5日 第40回伊東駅伝競走大会
- 12日 大室山山焼き大会
- 15日 伊東市教育研究会運営委員会
- 16日 第6回静東管内市町教育委員会教育長会
- 17日 平成23年度伊東市教育研究奨励賞授与式

その他

- (1) 2月14日 平成24年度伊東市各会計予算案公表
- (2) 「伊東市幼保小連携プログラム」について

委員長：ありがとうございました。ただ今の教育長報告について何か質問等がございますか。

委員：17日の教育研究奨励賞授与式には多くの若い教師の方がいらして非常に心強く思いました。昨年と比べ受賞数が多くなったことには理由があるのですか。

大川学校教育課長：昨年は5本と少なかったのですが、自分の研究の発表を行うことは大切ではないかということで、今年は年度はじめから校長・教頭先生方に御指導をいただき、今回の13本の受賞となりました。これから研究集録などの冊子も出ますので、それをまた、先生方に還して、これからは活かしていただきたいと思います。

委員：多くの受賞があることは大変良いことだと思いますが、お忙しい中で研究することは、非常に努力が必要だと思います。そちらのほうに時間をとりすぎ、本来のことができなくなるのは問題ですので、先生方の負担にならないように気を付けていただきたいと思います。

教育長：年度当初から、それぞれの教師の持ち味を活かすことのできる校長、教頭にならなければいけないという意味で、1年間の単年度の研究というよりは、2年3年と時間をかけて研究していきましょうということで実施しております。それをまとめることによって、自分自身の指導のあり方を見直したり、あるいは新しい指導の方法を考えたりすることもできると思います。ただ、負担にならないよう、そのような研究に邁進できる時間を、我々が作り出す努力をしなければならぬと反省しているところです。

委員長：そうした研究が先生から子どもたちに還り、子どもたちがそういったスキルを真似できるようになれば良いと思います。

委員長：その他何かございますか。

(意見なし)

委員長：委員からの報告がありましたらお願いします。

委員長：2月3日に静岡県市町新任教育委員研修会に出席するため、掛川の県の総合教育センターへ参りました。新任教育委員の指導、教育委員のあり方をもう1度見直そうということで、各市町の新任教育委員だけではなく、教育委員長やいろいろ

るな方がお見えでした。最初に、教育委員の仕事、それから自分たちがこれから教育委員会をどのようにしていくか、また、どのようなことをやるべきかについて説明がありました。次の講義は、教育センターの施設を先生たちがどのように使用しているかについてでした。宿泊施設もあるため、グループで泊まりながら研究をすることもあるそうです。いろいろなホールや図書館などもありましたが、利用はすべて無料です。ただ、掛川駅から非常に遠いところなので、そこまで行くのにバスなど利用しなければならず、残念だとも思いました。教育に関する問題や課題に対する各市町の対応や対処方法など、委員の方々と話げできたので、とても良かったと思っています。ありがとうございました。

委員長：それでは本日の議事に入ります。

委員長：議決事項です。

教議第14号「平成22年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について」を議題といたします。説明をお願いします。

(稲葉教育総務課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員長：私立幼稚園の先生たちと語る会で伺ったのですが、市とは、年1回は交流があるものの、その他にはないということです。私立は市内に2つありますが、自分たちのところから同じ小学校に通うことになるわけですから、どのようなことがあるかという情報があれば助かりますし、勉強にもなるということでした。小学校の今の状況も知りたいそうです。自己点検の中にもその項目がありますので、ぜひ連携を進めていただきたいと思います。教育長から御説明のありました保幼小連携プログラムにもありますが、聞くこと、我慢すること、丁寧にすることを大事にしているのは私立も同じです。このプログラムや、これから研究の授業や学校の様子を見ることのできる機会などがありましたら、私立幼稚園にも資料等を送っていただきたいと思います。

大川学校教育課長：とても大切なことだと思いますので、私立幼稚園とも連携を進めていきたいと思っています。

教育長：私立公立問わず、大事な伊東の子どもたちを支えていくために、必ずやら

なければいけないことだと思っております。

委員：幼稚園保育園の先生方と、小学校の低学年、特に1年の先生方との懇談会をしていただくのが良いのではないのでしょうか。「このようないい子がいました」「ここはしっかり教えておいてもらいたい」など、雑談のような話でも構いません。よく幼稚園保育園のPTAの方からお話を聞くことがあるのですが、どこまで小学校に入るときに教えたらいいのか分からないという話が出ます。幼稚園保育園側から、子育てなど教えることは教えて小学校に進学させているのだろうとは思いますが、ある程度幼児期の間に必要なことや、小学校1年からどのようなことを教えるかということも、前もってお知らせできるようになればいいかと思っておりますので、毎年何かの形で連携をとるようなことをお考えいただきたいと思っております。連携していくことによって、伊東の子どもたちのレベルが1つあがるとも思います。子どもたちも非常に大切ですが、時代も移り変わり、年寄りがいなくなると、今の若いお父さんお母さんは子どもたちの教育という部分において、難しくなっていると思います。低学年の保護者の方々にも、子どもを育てるにあたり、こういうふうにお育てになったほうがいいのではないですかというようなことも、お知らせしていくのが今の世の中大切です。ぜひそのようなことも含めて連携をお願いいたします。

大川学校教育課長：新しい年度が始まる前の2月から3月にかけて、小学校と幼稚園保育園の間で、子どもたちの情報交換は必ず行っております。入学してからも、幼稚園保育園の先生方に連絡して、給食の様子や、子どもの様子を見ていただき、指導の方向性を互いに話し合う機会も設けております。連携プログラムのようなリーフレットもできましたので、今後さらに保幼小の連携を進めていきたいと思っております。

教育長：連携プログラムについては、子どもたちの実態から出てこなければならぬということで、プログラムを作る過程でも、小学校のある先生からお話を聞きました。入学式のときから足がぶらぶらしていたり、話を聞けなかったり、落ち着いて座ってられないような子どもがいるというような状況もあります。これをなんとかしていかなければ、小学校でこれから学んでいく力を十分につけたり、その子の持ち味を活かしたりすることに直接エネルギー

をかけることができなくなってしまいます。委員がおっしゃるように、ここまではきちんとやっていきたいと思いますというふうなことの申し合わせ、あるいは目指す方向、指導の方法などを共有化していくために作ったものですので、今の幼稚園保育園にとって大いに参考になるかと思います。

委員長：ありがとうございました。その他何かございますか。

(意見なし)

委員長：この件について確認します。教議第14号「平成22年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について」は原案どおり承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長：委員の皆様から承認が得られましたので、教議第14号については原案どおり決定しました。

委員長：次に移ります。

教議第15号「伊東市学校給食運営委員会設置要綱の設置について」を議題といたします。説明をお願いします。

(大川学校教育課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員：県指導のもとに強く要請があったということは理解できますが、年1回だけの会議のための委員会設置ということでは、今と何か特別に変わることはあるのでしょうか。

大川学校教育課長：会議は原則として年1回開催しますが、委員長が必要と認めるときには委員会を招集するとありますので、給食について様々な課題が出てきた段階で、招集させていただいて、検討し、方向性を出していただきます。そのような形で随時開催できるようにしております。

委員長：ありがとうございました。その他何かございますか。

委員長：平成21年度に給食法が改正され、給食運営委員会は必ず設置しなければならないということになったということですが、改正時には設置しなかったのでしょうか。

大川学校教育課長：そのときには設置しなかったため、今回提案させていただきました。

委員：国や県の指導によって設置することにおいては吝かではないのですが、衛生管理という当たり前のことを審議事項の中に入れることに疑問を感じますし、PTA連絡協議会や母親代表の方たちは、運営というようなあり方においては参加するとは思いますが、献立作成、食指導等に関することについては、あまり意味が分からないと思います。失礼な言い方ですが、無駄な委員会を1つ作ったように見受けられます。この委員の中で審議する内容を、もう少し煮詰めたような話し合いの場を持つことを期待します。

委員：伊東市教育研究会学校給食部でも、こういうことは検討を続けていたのではないかと思います。ほぼ同じような組織ではないかと思うのですが、どう違うのですか。

大川学校教育課長：市教研の給食部会の中でも、献立や衛生の面について随時研究しておりましたが、学校の職員や栄養士だけの会ですので、市民の方や関係機関の方に入っていただいて、より様々な視点から献立や運営について御指導いただく機会、話し合いをする機会を作りたい、ということで設置することになりました。

委員：それでしたら、市教研の給食部に新たにこういう方々を委員として入れるということでも運営としては成り立っていく気がします。

鶴田教育次長：伊東市教育研究会学校給食部という組織が、給食について一定の協議をする組織であるというのは間違いのないと思いますが、学校関係者だけで行っていたものになります。平成21年度に改正された学校給食法に伴って衛生管理の基準、食育基本法などもいろいろと変わり、正式の組織として、学校給食の運営に係わる設置組織を作りなさいという規定が法的に新たにできました。もともとの学校給食の研究会を置き換えるのではなく、教育委員会の中の組織で、献立や地産地消など、地域を巻き込んだ学校給食に係わるいろいろな取組等を市民全体で協議していく組織を作っていきたいと思いますという、法改正の設置基準の中に入り込んだ形になります。設置要綱を作らないと、その組織が作れないということで、今回要綱を出させていただきました。震災や、急激な物価の上昇などにより、一律にされている給食費についてどうするかなどについては、保護者の方もいらっしゃるし、学校の研究部会の中だけでは検討しきれないこともありますので、正式な協議会の中で図っていこうという目的意識を持った設置というのが基本的な中身です。翌年の給食費の問題などありますので、最低でも年1回は開催する

という法的な既定のほか、問題があったら随時委員長が招集することになります。例えば、計画停電における給食の実施についても、その他委員会において必要と認める審議事項に入ると思います。想定されることで審議事項として入れさせていただいております内容については、今までも審議してきたことですし、これからも審議していこうというもので、確かにある程度事例的なものがあります。しかし、設置をしたことによって会の中で運営をしていくということは、要綱としては入れざるを得ません。委員会は、主にイレギュラーな部分で集まることが多いかと思しますので、ご理解をいただく形をお願いします。

委員：伊東市の関係者でなければ委員になれませんか。例えば、衛生管理の指導は、保健所の方がプロだと思いますので、保健所の職員に1人、オブザーバー的な部分で入っていただくことなどは可能ですか。

鶴田教育次長：委員には、その他教育委員会が必要と認める者というのが入っております。ノロウィルスの問題など、専門的な知識が必要であれば教育委員会が指名した者を中に入れるということは可能です。

委員長：給食費の値上げや値下げについての決定はここでの決断ですか。

鶴田教育次長：前年も食材が急騰しているということで、給食費について教育委員会の方の意見をいただいて、給食費は今のところそのまま据え置き、材料などを研究しながら作っていくことになりました。給食費は今まで学校サイドで決められていたこともありますが、やはりこれから先、給食費の問題というのは伊東市全体に係わることで、学校からあがってきた情報を、こういった組織の中で練り上げ、その結果を委員会の中で報告するというのは今後あるかと思います。最終的には伊東市全体に係わることで、市の考え方というのもそこには入ってくると思います。

委員長：会の意見ということで市に挙げて、それから市で検討や決定をしていただくという形でよろしいですか。

鶴田教育次長：基本的には今の委員長のお話で結構だと思います。その場その場でいろいろな条件がありますし、給食費については、どうしても食材費が高いので、全体として上げたいという意見もあるかと思いますが、市で予算を付けて上がらないように措置をするというのも1つの考え方だと思います。伊東市全体に係わることで、いろいろな状況の中で検討を重ねていただいて、保護者の方に負

担をしていただくかということになるかと思えます。

委員長：献立は基本的に栄養士が作成して地産地消のものを使っているということがあるわけですが、いろいろな方たちが献立作成や食指導等を審議してしまうと、栄養士がいらなくなってしまうような思いもあるのですが、どうですか。

鶴田教育次長：栄養士は、献立作成のほかに教室で食指導をしておりますので、全くいなくなることはないと考えております。例えば、伊東市全体で給食センターを作れば、共通献立になる可能性もありますので、栄養士の人数は減少していくかとも思いますが、食指導のため、各学校に行く人数が最低必要となってきます。学校給食法の絡みでいろいろ変わってきた制度の1つですが、先生の資格を持った栄養士ができています。栄養士が学校の先生と一緒に食育を教えるのではなく、学校の先生の代わりに栄養士が食育を教える制度に変わりつつありますので、そういった形の中では、栄養士の位置づけは必要になると思えます。

大川学校教育課長：給食については、バランスのとれたおいしい魅力的な食事を提供するというのと、他の教科と関連付けるなどして、地場産業や郷土料理などを活用することを通し、食育を学ぶということがあります。そういうことでは、栄養士としての立ち位置は必要になるかと思えます。

委員長：ありがとうございました。その他何かございますか。

（意見なし）

委員長：この件について確認します。教議第15号「伊東市学校給食運営委員会設置要綱の設置について」は原案どおり承認してよろしいでしょうか。

（異議なし）

委員長：委員の皆様から承認が得られましたので、教議第15号については原案どおり決定しました。

委員長：以上で議決事項は終了です。次は報告事項です。

教報第13号「平成24年度小・中学校の児童、生徒数について」を議題といたします。説明をお願いします。

（大川学校教育課長から資料に沿って説明）

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

(意見なし)

委員長：次に移ります。

教報第14号「平成24年度保育園措置予定人数について」を議題といたします。説明をお願いします。

(大川参事兼幼児教育課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員：保護者の方々の希望どおりの園に入ることはできましたか。

大川参事兼幼児教育課長：保育園の0歳児、1歳児、2歳児につきましては、とても応募が多い状況です。例えば荻では、非常に応募が多いので、希望どおりの人数がどうしても入れません。入れなかった方については第2希望や第3希望に回ってもらっています。すべてが希望どおりにはいきませんでした。

委員：おそらく近くに住んでいる方々が申し込まれていると思います。要望が多い地域であれば、児童数を拡充したりすることはできませんか。

大川参事兼幼児教育課長：荻を見ていただくと分かるかと思いますが、0歳児については定員12人になっていますが、入所決定は15人です。0歳児ですと部屋の面積は1人につき4.95平方メートル必要になります。部屋の面積をめいっぱい使って、ぎりぎりの人数である15人まで増やしているという状況です。どうしても希望から漏れる方はいるということだけは承知していただきたいと思います。

委員長：ありがとうございました。その他何かございますか。

(意見なし)

委員長：以上で教議事項は終了です。次はその他です。

「平成24年度市立幼稚園入園見込みについて」を議題とします。説明をお願いします。

(大川参事兼幼児教育課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員：私立幼稚園からも公立小学校に上がる可能性は高いと思いますので、私立の人数が分かるとありがたいです。今は資料をお持ちではないかと思いますが、分かる

ようであれば作成をお願いします。

委員長：その他何かございますか。

（意見なし）

委員長：次に移ります。

「伊東市立小中学校施設管理のあり方検討会報告について」を議題とします。説明をお願いします。

（稲葉教育総務課長から資料に沿って説明）

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

（意見なし）

委員長：その他、何かございますか。

鶴田教育次長：平成24年度予算の公表資料から、新年度予算はどのような予算計上のお願いをしているか説明させていただきます。一般会計の予算の総額は220億5千万円になり、23年度と比較すると8億3千万マイナスの、マイナス3.6パーセントの当初予算計上で公表されております。教育費の歳出の24年度の当初予算の計上額は15億7,769万6千円になり、23年度の当初予算ベースと比較すると、マイナス8,064万9千円でマイナス4.9パーセントという公表です。実際のところは、24年度当初予算で計上予定だった富戸小と池小体育館の耐震補強工事費1億5千万円を、国の平成23年度第3次補正による交付金を活用し工事を実施したほうが、市の負担が少なくなるため、3月補正で23年度予算に前寄せています。また南中学校耐震補強工事についても同様に、債務負担行為にて24年度当初予算に計上する予定だった2億7,825万円を、国の平成23年度第3次補正を活用するため、3月補正で23年度予算に前寄せしております。これらの工事費を含めると、実質的には、24年度予算は20億594万6千円になり、プラス20パーセントくらいの教育費の伸びになる形です。公表資料に主な主要事業が載っておりますが、新規事業についてのみ説明させていただきます。民生費という保育園関係の予算になります伊豆栄光湯川保育園措置委託及び運営補助事業については、今年までは指定管理の委託料という形でしたが、民営化され、措置料と名前が変わる委託事業になります。措置料については、国からの補助率が決まっております、今までの指定管理委託料は交付

税措置ということで、オブラートに包んだような形で補助されていましたが、4月以降はこの措置料に対して明確な補助内容で国から交付金が下りてくることとなります。続いて教育費の説明をいたします。通級指導教室支援事業は金額的には85万2千円と金額的には少ないですが、昨年から西小学校の通級教室の充実を図ろうということで、主要事業としております。また、県指定有形民俗文化財になっている富戸の魚見小屋改修事業については、中に入れる状態にするのは工事費もかかるため難しく、当面は遠目から見て分かるような形で屋根を中心に、県と歩調を合わせ、改修していきます。伝統文化育成補助事業については、今年度補正予算で始めた事業ですが、子どもたちの伝統文化の団体に補助していこうということで、新規事業とさせていただいております。生涯学習センター改修事業の2,060万円につきましては、タイルが剥離して落ちて危ないため、補修工事と中央会館のLED化を行うものです。工事請負費という形で新規事業としております。学校開放事業205万円のうち160万円は、南小学校の屋内運動場の壊れている支柱を集中的に修繕するというので、新規事業として載せております。主なことだけ申し上げましたが、細かい内容の説明は議会承認後に事項別明細が決まりますので、3月の定例会で改めて御提出させていただきたいと思っております。以上、主な公表資料についての概要となります。

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員：小・中学校情報教育事業で、教育用パソコンを活用し、インターネット等の情報教育を推進という内容があります。これは今の伊東市の学校の先生方のパソコンが不足しているということは承知だと思いますが、その普及率があがるような事業として受け止めてよろしいでしょうか。

鶴田教育次長：これは子どもたちのパソコン教室の事業となります。先生方のパソコンは別の事業となります。

委員長：その他、何かございますか。

肥田生涯学習課長補佐：伊東駅伝について報告させていただきます。2月5日に行われた第40回伊東駅伝につきましては、インフルエンザ等で2チームが棄権しましたが、絶好の駅伝日和の中、46チームの選手が、次の選手に一生懸命たすきをつなぐ姿に沿道の多くの市民が感動し、勇気づけられたと思っております。また、毎回

問題となっている出場チームの関係者や、父母などの車による選手の追っかけが今回も見られました。狭い道路内で選手を追い抜く危険な行為を排除するためにも、来年に向けて大会関係者、出場チーム、その他関係者と、適切な運営に向けて、特に伴走車による応援の規制について協議を重ねていきたいと考えております。生涯学習課からは以上です。

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

(意見なし)

委員長：その他、何かございますか。

大川学校教育課長：インフルエンザについて報告いたします。現在、大池小の1クラスと富戸小の5年生が学級閉鎖しています。全体的には3パーセントと減ってきておりますし、小学生については、ほぼ1パーセントですが、まだ続いている状況です。今、宇佐美小も心配だという情報がありました。小中学校は全部で192クラスありますが、今現在、学級閉鎖をしたクラスが62クラスあります。

大川参事兼幼児教育課長：同じく幼稚園保育園のインフルエンザの状況を報告します。先々週に幼稚園で103人、保育園で107人の欠席があり、学級閉鎖、学年閉鎖等もありました。今日現在ですと幼稚園で15人、保育園で13人の欠席になり、学級及び学年閉鎖はありません。以上です。

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

(意見なし)

委員長：その他、何かございますか。

鶴田教育次長：放射能を今月も測定し、ホームページに掲載しております。機会があれば見ていただくようお願いします。

委員長：その他、何かございますか。

(意見なし)

意見も無いようですので、本日の審議事項は、以上を持ちまして終了します。

委員長：今後の日程について確認します。

3月定例会につきましては、3月19日（月）午後2時30分から、4階中会議室

4月定例会につきましては、4月24日（火）午後2時30分から、4階中会議室

委員長：ご苦労さまでした。以上で伊東市教育委員会2月定例会を終了します。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

委員長 杉田 純子

委員 佐藤 潤一

書記 村上 千明